

1/15-378

## 「安保政策の大転換」への適合が狙い

## 学術会議つぶし阻止を

## 安保法反対 学者の会声明

卷之三

安全保護運法に反対する者の中には、政府に反対しないといひ、強いて再審をめぐらす。

に至る独立性を侵害しかねないとして、強く弾劾を求めています。

を説教する。これを組」としての狂歌、撤回を要求していく形。

中野晃一上智大学教授は、大學や學術機關といった「學問共同体」の自由を保障した憲法23条「學問の

立した「アカデミー」がない間に  
になってしまつ」と警告し  
ました。

卷之三

6

卷之三

立派なカデミーがまへ

業界」との連携を強調する  
政府「方針」は、「利権の追  
求」を狙っていると指摘。

記者によると(左から)佐藤  
内緒、高田、大沢、中野の筆  
氏=14日、東京都千代田区



一方針に対し、学術會議側は、この「大転換」に適合する政府の学術會議改革の根本的・根本的な科学者組織に学術會議の動機が明らかになつたと

明。学术認識会員の高山信  
奈子京都大学教授は、優れ  
た業績のある民間の研究者

授は「平和のためには独立したアカデミーが必要もかわらず、あえて「産だ」と訴えました。